



とちぎけん むぎ せいさんりょう おお  
 なぜ栃木県は、麦の生産量が多いのかな？



こむぎ  
小麦



にじょうおおむぎ  
二条大麦



ろくじょうおおむぎ  
六条大麦

にじょうおおむぎ おおむぎ しゅう がつ おやまし ようす  
 二条大麦（ビール大麦）の収かく（5～6月ごろ）（小山市の様子）

とちぎけん むぎ じゅうよう さくもつ こむぎ にじょうおおむぎ ろくじょうおおむぎ しゅるい おお  
 栃木県では、麦は重要な作物で、小麦・二条大麦・六条大麦の3種類が多くつ  
 くられています。小麦は主にうどんに、二条大麦はビールに、六条大麦は麦茶に  
 つか 使われたり、ごはんにまぜたりします。

とちぎけん むぎ とち めんせき せいさんりょう ぜんこくだい い とく にじょう  
 栃木県は、麦をつくらしている土地の面積と生産量が、全国第4位で、特に二条  
 おおむぎ せいさんりょう ぜんこくだい い 大麦の生産量は、全国第1位です。



むぎ かんそう そだ さくもつ とちぎけん ふゆ  
 麦は、乾燥したところで育つ作物です。栃木県は、冬  
 にあまり雪がふらず晴れの日が多いので、乾燥した日  
 が つづ 続きます。太陽が照っている時間が長いことは、麦が育  
 つのにとてもつごうがよいのです。また、栃木県の水田  
 は、水をぬくとよくかわき、ジメジメした土がきらいな  
 むぎ ちゅうどよい土です。そのため、栃木県では、  
 すいでん りょう ※ にもうさく さか むぎ せいさん  
 水田を利用した二毛作が盛んにおこなわれ、麦の生産  
 が多いのです。

※二毛作とは、1年に同じ土地で2回、別の作物をつくることです。